



ちようふ彩咲祭2025事業実績報告

目次

■ ちょうふ彩咲祭について	1
目的やビジョン	1
実施経過	1
実行委員会	2
■ ちょうふ彩咲祭 2025 実施結果	3
実施概要	3
実施内容	3
■ 当日の様子	5
たづくりエリア	5
1 くすのきホール/ステージパフォーマンス・みんなのディスコ	5
2 むらさきホール/アート系ワークショップ	7
3 たづくり東側エリア/縁日	7
4 たづくり北側道路/流し踊り・みんなのパレード	8
旧甲州街道(調布駅北口➡布田駅前)/流し踊り・みんなのパレード・フィナーレ	9
■ 交流企画	10
■ ボランティア	10
■ 同時開催	11
1 調布市パラアート展2025/たづくり南北ギャラリー	11
2 調布市民文化祭「文化フェスタ」/調布市役所前庭	11
3 謎解きゲーム(上布田商店会)、ハッピーまつり(不動商店会)/旧甲州街道	11
■ 関連事業	12
1 ビッグ・フラッグ制作	12
2 出前パフォーマンス	13
3 デジタルフォトコンテスト	13
■ サポートに関する取組	14
■ 協賛	15
■ 広報	15
■ ちょうふ彩咲祭 2025 実行委員	エラー! ブックマークが定義されていません。

■ちょうふ彩咲祭について

目的やビジョン

1. 目的

「ちょうふ彩咲祭(さいさいさい)」を実施することにより、年齢、性別、障害の有無、国籍、経済的な状況などに関わらず、さまざまな立場の市民が交流する機会と社会参加の機会をひらく社会的基盤とすることで、広く市民のコミュニティの醸成を図り、もって市民の文化の向上と人間性豊かで文化的な地域社会の実現に寄与することを目的としています。

2. 目指すまつりのビジョン

「ちょうふ彩咲祭」を通して調布に住む人々が交流し、まちに笑顔があふれる。

3. キャッチフレーズ

「だれもが笑顔！」

4. まつりの名称について

実行委員会で検討を重ねて決定しました。参加する市民一人ひとりがこのおまつりを明るく「彩」り、それぞれの個性や魅力を花のように「咲」かせてほしい、という願いが込められています。

5. ロゴマーク/ロゴタイプ



実施経過

昭和 52(1977)年に始まった「調布ふるさとまつり」を継承し、平成 15(2003)年からは「調布よさこい」として調布市と当財団主催、実行委員委員会を発足しての企画・運営という体制で実施。市民がつくり、市民だれもが参加できる夏の風物詩となるイベントとして親しまれました。しかし近年の猛暑が続く中での継続が難しく、実施時期を10月に変更しました。

これを機に、国籍、年齢、障害の有無に関わらず、市民が集い、交流できる場となるよう内容の充実化を図り、「よさこい」やダンス、演奏などのパフォーマンス、アート系のワークショップ、縁日コーナーなど盛り込んだお祭りになりました。

1. 目的及び内容

「ちょうふ彩咲祭」を通して、来場者及び地元商店会等の地域住民の交流を図り、一体となって取り組める企画を実施・運営する。

2. 各役員及び部会等の役割

- (1) 顧問 オブザーバーとして全体を補助する。
- (2) 実行委員長 実行委員会全体の取りまとめをする。
- (3) 副実行委員長 実行委員会全体の取りまとめ、実行委員長の補佐をする。
- (4) 企画・運営部会 地域交流のための方法を検討、広報、協賛方法を検討する。
- (5) 縁日・ワークショップ部会 会場の配置やプログラム、運営方法について検討する。
- (6) パフォーマンス部会 ダンスや演奏団体などのパフォーマンスに関するプログラムや運営方法のほか、企画を通して交流が生まれる方法、市内に「ちょうふ彩咲祭」を広める方法を検討する。
- (7) 役員調整会 実行委員長の判断により、実行委員長、副実行委員長、各部会長で検討する。
- (8) 運営ボランティア 当日の運営の手伝いをする。任意で事前準備や実行委員会に参加する。

3. ちょうふ彩咲祭 2025 実行委員会

(1) 実行委員 40人

実行委員長 小林 麻美
副実行委員長 児山 宣孝
企画・運営部会 実行委員 7人
縁日・WS 部会 実行委員 17人
パフォーマンス部会 実行委員 16人



実行委員会の様子

(2) 実行委員会日程

- ・第1回実行委員会 4月17(木)19:00~20:00 大会議場
内容:実行委員長の選出。事業名称の決定。
- ・第2回実行委員会 5月9日(木)19:00~20:00 301/302 会議室
内容:概要決定。ロゴ決定。個人参加型の企画内容の検討。参加団体募集要項の検討。
オープニングやフィナーレの企画内容、タイムスケジュールについて検討。出店配置の検討。
- ・第3回実行委員会 6月12日(木)19:00~20:00 グリーンホール小ホール
内容:個人参加型企画や SNS の運用について検討。出店場所、演舞会場・タイムスケジュール検討。
- ・第4回実行委員会 7月17日(木)19:00~20:00 601/602 会議室
内容:ワークショップ確認、その他当日参加企画検討、サポートメニュー、地域交流企画、
タイムスケジュール、企画の検討
- ・第5回実行委員会 8月21日(木)19:00~20:00 1001/1002 会議室
内容:パレードの運営方法検討、その他運営について、事業詳細の最終確認。出店配置決定。
- ・第6回実行委員会 9月11日(木)19:00~20:00 グリーンホール小ホール
内容:パレードの運営方法検討、その他運営について、事業詳細の最終確認。
- ・第7回実行委員会 11月20日(木)19:00~20:00 大会議場
内容:反省と来年度に向けての検討。

■ ちょうふ彩咲祭 2025 実施結果

実施概要

- 名称 ちょうふ彩咲祭 2025
- 日時 令和7年10月4日(土)11時~16時30分
※セレモニーは10時30分から11時まで
- 会場 たづくりエリア(調布市文化会館たづくり2階くすのきホール、むらさきホール、市役所前庭、調布市文化会館たづくり北側道路)、旧甲州街道(調布駅北口~布田駅前)
- 主催 公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団/調布市
- 運営主体 ちょうふ彩咲祭 2025 実行委員会
- 後援 京王電鉄株式会社 株式会社ジェイコムイースト調布局 調布市教育委員会 調布市公立学校PTA 連合会 調布市自治会連合協議会 調布市障害者(児)団体連合会 東京調布むらさきロータリークラブ 東京調布ロータリークラブ (五十音順)
- 協力 上布田商栄会、調布中央商店会、不動商店会
アフラック生命保険株式会社、イースタンモーターズ調布株式会社、小田急バス株式会社、京王自動車株式会社、京王バス株式会社調布営業所、警視庁調布警察署、調布エフエム放送株式会社、株式会社スギ薬局 調布布田店、調布交通安全協会、調布市商工会、調布地区防犯協会、東京消防庁調布消防署、美善交通株式会社、めじろ作業所、蓮慶寺(五十音順)
- 協賛 児玉幸子スタジオ株式会社、株式会社三誠、首都圏工業株式会社、株式会社真光書店、深大寺天然温泉 湯守の里、仙川商店街協同組合、調布 FM(83.8MHz)、調布市建設業協働組合、調布市商工会、株式会社調布清掃、マインズ農業協同組合、明治安田生命保険相互会社 新宿支社、株式会社吉野清掃(五十音順)
- 同時開催 上布田商栄会謎解きイベント、不動商店会ハッピーまつり、調布パラアート展、調布市民文化祭(文化フェスタ)

実施内容

1 パフォーマンス 30チーム

(1) よさこい部門 13チーム

彩羽-iroha-、SHC 倶楽部チーム調和、NYS 未来、CAPS 和鷲、SUNSHINE Smiles、CIFA インターナショナル、JAマインズ女性部よさこい連、深大寺児童館 よさこい連fff、ダンスよさこい凜、調布市民謡舞踊好会、調布市立第五中学校ボランティアダンス部、ちょうふだぞう、調布よさこい組舞夢(五十音順)

(2) パフォーマンス部門 14 チーム

ITS by Studio Laughs(ダンス)、一祥会(創作舞踊)、NBJ(ダンス)、MDH CHOFU(ダンス)、健身サークル エンジョイ(手話ダンス)、晃華学園中学校高等学校バトントワリング部(バトントワリング)、スタジオ☆じゅぴなす(ダンス)、Smile MYU TOKYO(ダンス)、仙川だるま連(阿波踊り)、TARONINA-ORI TAHITI TEAM(タヒチアンダンス)、team MOMOCA(ダンス)、調布市民謡舞踊好会(盆踊り)、Rainbow girls by Studio Laughs(ダンス)、101 キッズ(ダンス)(五十音順)

(3) 音楽部門 3チーム

C.J.J.N.(ビッグバンド)、調布さくらウインドオーケストラ(吹奏楽)、童太鼓(和太鼓)(五十音順)

■ 当日の様子

たづくりエリア

1 くすのきホール/ステージパフォーマンス・みんなのディスコ

(1) ステージパフォーマンス

くすのきホールでは、よさこいチームをはじめ、キッズダンスや創作ダンスなどのチーム、吹奏楽や和太鼓などの演奏団体によるステージパフォーマンスが行われました。幅広い世代の参加者と来場者によって、ホールは大いに盛り上がりました。まつりのオープニングを飾るセレモニーでは、長年にわたり通常学級の生徒と特別支援学級の生徒が協働しながら活動している「調布中学校和太鼓部」による力強い演奏が会場を沸かせました。



(2) みんなのディスコ

だれもが参加できることをコンセプトにした「みんなのディスコ」を、調布で長年「バリアフリーディスコ」を実施している「チームコブラ」の協力を得て実施しました。ゲストとして、車椅子ダンサーかんばらけんたさんのパフォーマンスに、参加者一同魅了されました。またディスコタイムでは、多様な人々が音楽でつながり、歌ったり踊ったり、手拍子をするなど思い思いに楽しみました。



(3) 特別出演:調布中和太鼓部・グリーングリーンのはら



2 むらさきホール/アート系ワークショップ

昔の手作りおもちゃやお面作りやカプセルジェムづくり、お面づくりなど、気軽に楽しめるアート系のワークショップのブースで親子を中心に楽しむ姿が見られました。



3 たづくり東側エリア/縁日

飲食やくじ引き、スーパーボールすくい、キックターゲットなど、市民団体を中心とした様々な出店がまつりを盛り上げ、多くの人でにぎわいました。



4 たづくり北側道路/流し踊り・みんなのパレード

「パフォーマンス部会」による「オープニング総踊り」として、複数のよさこいチームが一丸となって、『正調よさこい』『蝶舞』『よっちょれ』を踊りました。その後、よさこいの流し踊りや阿波踊りが会場を盛り上げました。沿道には車椅子ユーザーや外国人グループの姿も多数ありました。

個人でも参加できる「みんなのパレード」では、車椅子インフルエンサーの中嶋涼子さんと一緒にオリジナルの曲で、彩咲祭手ぬぐいを振って踊りました。



旧甲州街道(調布駅北口→布田駅前)／流し踊り・みんなのパレード・フィナーレ

旧甲州街道では、よさこい、阿波踊り、創作ダンス、チアダンスなどのチームによるパフォーマンスと、個人参加可能な「みんなのパレード」を行いました。

フィナーレは、実行委員会企画として参加団体が2つのエリアに分かれ、チームの代表がマイクを持って『よっちょれ』『調布音頭』『ジャンボリーミッキー』のほか、子どもも大人も楽しめる選曲で、沿道の観客と一緒に踊りました。みんなのパレード2回目・3回目には、車椅子ダンサーのかんばらけんたさんが合流しました。また、空にたなびく「彩咲祭ビッグフラッグ」がパレードを彩りました。

沿道では海鮮焼きやラムネの販売などがありました。



■交流企画

来場者や参加団体メンバーなど、市民が交流できる企画を実施しました。

★オープニング総踊り&フィナーレ(再掲)

★彩咲祭みんなのパレード(再掲)

★彩咲祭みんなのディスコ(再掲)

★スタンプラリー

毎年恒例のちょうふ彩咲祭の各会場を回るスタンプラリーを実施しました。

スタンプラリーの景品には出店で交換できるものもあり、来場者との交流が図られました。

*綿菓子引換券(BFC サポーターズ) *スーパーボールすくい引換券(フェリース MINYA)

*くじばら売り商品交換券(TSUTAYA 調布駅南口店) *文房具セット(調布わいわいサロン)

*駄菓子セット(C.J.J.N.) *ノート・キッズユニフォーム(FC 東京)

*ジェラート引換券(調布を耕す会しごと場大好き)

*ちょうふ彩咲祭缶バッチ *ちょうふ彩咲祭ステッカー *調布よさこいミニタオル・手ぬぐい



■ボランティア

ちょうふ彩咲祭独自で募集したボランティアと、調布市文化・コミュニティ振興財団 文化ボランティア「ちょうふアートサポーターズ(通称 CAS)」約30人に、各会場の出店の補助や踊り手への給水活動をお手伝いいただきました。活動を通して市民間の交流がありました。



■ 同時開催

1 調布市パラアート展2025/たづくり南北ギャラリー

2017年度から調布市福祉作業所等連絡会と調布市の共催で、福祉作業所や特例子会社等で活動されている方々のアート作品を展示する「調布市パラアート展」を開催しています。

市制施行70周年を迎えた令和7年度は、70歳の調布への贈り物をテーマに制作された作品の中から調布ゆかりのスポーツ団体や企業が表彰する「アワード部門」と、テーマを設けずに自由に制作された「自由制作部門」の二部構成で開催しました。また、西部児童館の子どもたちとパラアート展メンバーと一緒に色付けをした記念タペストリーも展示しました。



2 調布市民文化祭「文化フェスタ」/調布市役所前庭

調布市民文化祭による「文化フェスタ」が同時開催されました。ファミリーを中心とした来場客は、いけばなや工芸、囲碁などの体験ブースとステージ発表を楽しみました。



3 謎解きゲーム(上布田商店会)、ハッピーまつり(不動商店会)/旧甲州街道



■ 関連事業

1 ビッグ・フラッグ制作

「彩咲祭みんなのパレード」で使用する「ビッグフラッグ」を制作しました。

市内でアート活動をしている「みんぐるりんご」に監修してもらいながら、調布にゆかりのある材料「布」を使った作品作り、また「プロセスもアートの一部」として、多様な人に携わってもらうための方法を話し合いました。市内9カ所でのワークショップを経て、ビッグフラッグが完成しました。フラッグのデザインは、共生社会をイメージした「ハーモニー」としました。

【参加団体】

しばさき彩ステーション(居場所) 太陽の子(適応指導教室)

調布を耕す会 しごと場大好き(福祉作業所) トビバコ(居場所)

パイオニアキッズちょうふ園(保育園) ファーストステップ(福祉作業所) 文化会館たづくり

ポコポコホッピング(放課後デイサービス) ゆずのき学童クラブ



2 出前パフォーマンス

ちょうふ彩咲祭のPRと地域のコミュニティ活性化のため、調布市内全域の催し物を対象に、ちょうふ彩咲祭で活躍しているパフォーマンスチームを紹介する「出張パフォーマンス」を通年で行いました。

7月20日(日)西部飛田給自治会納涼盆踊り大会

7月20日(日)国領サマーフェスティバル in 国領

7月27日(日)「よってんべ〜」つつじヶ丘ふれあい夏祭り

8月3日(日)おらほせんがわ夏祭り

8月24日(日)青赤夏祭り(FC東京 VS 京都サンガ)

高速第四児童遊園

国領駅前広場

創価学会調布平和会館 駐車場

せんがわハーモニーパーキング

味の素スタジアム



3 デジタルフォトコンテスト

ちょうふ彩咲祭当日に撮影した、祭りのテーマ「誰もが笑顔」を表現している作品を募集し、応募作品数26作品の中から「最優秀賞」「優秀賞」「佳作」を決定しました



【最優秀】
笑顔の連鎖
島田知世子



【優秀】
「雨粒よりも輝く笑顔」
石森奈穂子



【優秀】
「飛べるエネルギー」
Guillen, Pier
(ギジェン、ピエール)

■ サポートに関する取組

くすのきホールでは車いすスペース、大きな音が苦手な方用の鑑賞室、難聴者向けに FM 集団補聴器を用意し、ステージ上には手話通訳者を配置し、司会やチーム紹介などの通訳を行いました。そのほか外国の方が声をかけやすいよう、スタッフは自分に対応できる言語などをスタッフ T シャツに貼りました。

また、プログラムや WEB サイトに、車椅子ユーザーが通りやすい道順や車椅子対応トイレなどの情報を掲載しました。



フィナーレ
16:12~16:30 区間①・②
「よっちょれ」「調布音頭」「ジャンボリーミッキー」などの曲で踊り手・来場者みんなと一緒に踊りましょう！

同時開催
常性寺・常性寺駐車場
不動産商会
ハッピーまつり会場

旧甲州街道 区間②
旧甲州街道 区間③

布田屋 海鮮焼き
千代富 清風堂 ラムネ

ピンクスタンプ (11:00~14:00)

Cafe Gallery さえずり

車いすやベビーカーはピンク色の矢印のルートがオススメ

ちやうふ彩歌祭とは？
夏の終わりの風物詩として盛り立ててきた「調布よさこい」は、鑑賞が続く中で、観覧が難しく、実施時期を10月に変更しました。これを機に、国籍、年齢、障害の有無にかかわらず多様な市民のみならずが楽しめる、誰もが交流できる場となるよう内容を「アップデート」しました。よさこい踊りやダンス、吹奏楽などのパフォーマンス、アート系ワークショップ、観覧コーナーなど盛りだくさんのおまつりです。まつりの名前には、参加する市民一人ひとりがこのおまつりを明るく「彩」り、それぞれの個性や魅力を花のように「歌」がせてほしい、という願いを込めました。

彩歌祭おんなのぼろ (個人参加)
誰でも参加OK！自由の「彩り」をテーマにできる「ぼろ」を通して11人のチームの衣装、アート、パフォーマンス、ヒーローの衣装など自由参加の自由な衣装に挑戦して、夕涼みや夏の思い出を残して参加してください。(服装自由OK)
たづくり名義 調布・旧甲州街道各団体の皆様にはスタート地点に集合してください。

彩歌祭ビッグフラッグ
市内各所でイベントするワークショップを行い、それらを集めてつくったビッグフラッグ。旗、パレードの旗などとしてまつり使います。(旗裏にみんなの顔)

■ 協賛

「ちょうふ彩咲祭 2025」の実施における自主財源の確保と、地域コミュニティ活性化のための事業を実施するため、「ちょうふ彩咲祭 2025」への協賛を募集し、各社・団体にご協力いただきました。

えの木駐車場、児玉幸子スタジオ クリアティブメディアアートスペース、株式会社三誠、首都圏工業株式会社、株式会社真光書店、深大寺天然温泉 湯守の里、仙川商店街協同組合、調布 FM(83.8MHz)、調布市建設業協働組合、株式会社調布清掃、東京フットボールクラブ株式会社、バンリー調布駅店、マインズ農業協同組合、明治安田生命保険相互会社 新宿支社 調布営業所、株式会社吉野清掃(五十音順)

プログラム広告



うちわ



バナー



■ 広報

- ・ポスター B1 サイズ20 枚
(調布市内9駅、トリエ京王調布など)
B2 サイズ 100 枚(市内公共施設)
B3 サイズ 100 枚(市内公共施設など)

- ・チラシ A4 サイズ 8,000 枚
(市内公共施設・自治会掲示板など)

- ・プログラム B5 サイズ(8 ページ)9,000 部



・その他

SNS(Instaglam / Facebook)

実行委員にも投稿文を作成してもらいました。



調布経済新聞



テレビ広報ちょうふ



ちょうふぼっぽみち



※その他 J:COM ちょうふエフエム

ちょうふ彩咲祭 2025 事業実績報告

令和 8 年 1

月発行

編集・発行:公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団 文化・コミュニティ事業課

〒182-0026 東京都調布市小島町2-33-1

TEL 042-441-6171

FAX 042-441-6160

E-mail comm@chofu-culture-community.org

URL <https://www.chofu-culture-community.org/events/archives/34584>

運営主体:ちょうふ彩咲祭 2025 実行委員会

主 催:公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団／調布市

